

質問者



松本 一二美 議員

問 学校のトイレに配慮を

「音やにおいに敏感な子どもたちのために、トイレに消音機の設置を要望します。トイレのにおいの対策、美観、衛生面についての考えは。」

答 適切な管理と洋式化を推進

答弁 赤星教育長

においの対策では、芳香防臭剤の設置や、換気に気をつけています。岡田・松前小学校はEM菌を利用していま

す。今後も子どもたちのトイレ利用に関するストレスや不安感をなくすために洋式化を推進し、老朽化した器具や臭排水設備の改修を図ります。消音機の設置は、経費の関係から無理です。

問 放課後対策について

校区ごとに子どもの集える場の提供・児童館の設置を。松前町児童館条例の年齢の見直しを。岡田校区の放課後対策は全面から、岡田小学校内で、できないか。

答 次世代育成計画での検討課題・協議中

答弁 永田福祉課長

条例改正すると改築等が必要になり、財政的に困難です。実際に子どもが現実的に利用のできるシステムでの次世代育成計画を検討中です。岡田小学校は空き教室がないため、今後協議努力します。



岡田小学校

問 保育所の給食室にクーラーの設置を



保育所の給食風景

夏は給食室の室温が40度以上になります。子どもたちに新鮮で安心・安全なおいしい給食を作っていたりたくため、またO157対策や給食に携わる方の健康上からも、クーラーの設置を要望します。

答 順次設置

答弁 白石町長

給食調理室の室温は25度以下が望ましいと県の指導にあります。町内保育所の調理室も、6月9月の調理時間帯には30度

を超える室温を記録しています。17年度には予算計上して、順次設置をしていきます。

問 高齢者虐待の実態と対応策について

当町の高齢者虐待の実態はどうか。対応策についての考えは。限界を超える介護ストレスからの虐待防止にSOSホットラインの設置を。松前町における成年後見制度の普及啓発の取り組みは。

答 高齢者虐待防止ネットワーク事業開始

答弁 白石町長

当町では、高齢者の相談を総合的に受け付けています。虐待の未然防止、早期発見の視点に立って、17年度から高齢者虐待防止ネットワーク事業を開始し、虐待の早期発見・地域ケア体制の確立を目指します。SOSホットラインと同じ機能で相談窓口の整備をしていきます。成年後見制度のパンフレットを町民課の窓口においています。

問 初期消火にバイク隊の設置を

火災時、密集地では軽四の消防車でも入れない所が町内にはあります。初期消火の重要性から、バイク消防隊の設置を要望します。

答 導入の考えはない

答弁 吉田総務課長

松前町は平坦な地で、通報から5〜6分で現場に到着できます。バイク隊は狭い道路への侵入は可能ですが、消火能力に限界があります。十分な消火能力を持ったポンプ車など、消防車両が火災通報と同時に現場に向いての消火活動が最良の方法と考えます。



松前消防署